

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターにこっと			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 31日		～	令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～	令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・チーム支援	・チーム支援に向けての申し送りノートの活用	・具体的支援についての質の向上の研修 ・チームで利用者全員の特性理解の共有を深める
2	・施設内外の環境	・近隣の公共施設(隣接保育園共有園庭、コミセン、グランド等)を常に活用 ・個別支援の為に環境づくり(個室の活用、視聴覚教材等)	・個別スペース確保の為に工夫 ・年齢や成長に合わせての環境を設定する
3	・訪問支援との密な連携 保護者からの信頼	・保護者との信頼関係づくり(丁寧な寄り添い)	・保護者のニーズや声に応えられる工夫や対応

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放デイ、児発が一緒に施設の為に、長期休暇(時間帯が一緒)の時の施設の活用が難しい。	・施設の活用方法	・放デイが一時的に活用できる施設の確保やスペースのつくり方 ・支援の質の向上に向け、支援方法の研修を増やす
2	・利用希望者に十分答えられない(常に満員状態、希望通りに使えない、入れない)	・新たな環境	・新しい施設、場所の確保
3	・長期休み期間の職員不足	・人的環境	・短期間の支援者の採用(パート、代替え、学生アルバイト等) ・男性職員の採用